

令和7年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実演と実習の時間を多く設けることができたほか、グループでの協働学習や話し合い活動を実践し、生徒の主体的な学びを実践することができた。
- ・ICT 機器や1人1台端末を用いて、動画視聴やデータ確認、グループ学習等、様々な場面で活用できた。

(2) 課題

- ・日常生活の中にある問題を見出し、授業で得た知識等を自身の生活上の課題解決に生かそうとする意識が低い様子が見られる。課題の設定例や模範例を提示したり、授業内で課題解決型学習の機会を増やすことが必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学びに向かう姿勢 |
|--|---|---|
| 実演と実習を繰り返し行い、知識や技能をどのように活用するべきかを考えさせる。 | 社会や家庭の中で活用されている技術について具体例や調べ学習を実施する中で、課題を設定させ、解決策を考える。 | 人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題解決をしようとする意識を高めていく。 |

(2) 第2学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学びに向かう姿勢 |
|---|--|--|
| 生徒の技術習得の違いに応じて、指導方法や内容を工夫し、ものづくりの概念等を理解させ、技能の習得を図る。 | 学習の振り返りレポート等を活用して、生活をより良くしていくための工夫や解決策を考えさせ、表現する力を身に付けさせる。 | 生徒が興味をもち主体的に学習に取り組める課題の設定を行い、課題への振り返りや工夫する視点などをもたせ、意欲を高める。 |

(3) 第3学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学びに向かう姿勢 |
|---|--|--|
| 課題解決型の学習を多く取り入れて、基礎的、基本的な知識やそれらに係る技能の定着を図る。 | 事前課題や振り返り課題を活用して、自らの考えを明確にした作品づくりに取り組みせ、表現する力の育成と課題を解決する力の充実を図る。 | より良い生活の実現に向けて、生活課題と目標を個人で設定し、生活を創造したり実践したりしようとする態度を養う。 |